

ソリューション アセスメント Modern Workplace & Optimization

Contoso

アセスメントの内容

- 01 要点
- 02 概要と主なメトリックス
- 03 エンドポイント
- 04 Windows 仮想デスクトップ
- 05 ユーザー
- 06 Microsoft 365 の機能の確認
- 07 財務分析と次のステップ

要点

Microsoft Workplace Modernization & Optimization Assessment では、クラス最高のツールと対象分野に関する深い専門知識を組み合わせ、顧客組織の職場を近代化して最適化する機会についての洞察を提供します。

本アセスメントでは、検出ソリューション Movere によって得られたクライアント、サーバー、およびユーザーのデータ、顧客組織で利用されている他の管理ツールによって得られたデータ、および組織の知識を重ね合わせて、以下の裏付けとなる洞察と提案事項を提供します。

複数のテクノロジや発行元にまたがる財務分析により、Microsoft 365 での標準化を目的とするビジネス ケースの作成

Windows 10 Enterprise および Microsoft 365 Apps for Enterprise へのアップグレードとクライアントでの展開の統合

- クライアント OS 展開の 93% は Windows 10 Enterprise に標準化されている
- Office 展開は Microsoft 365 Apps for Enterprise にまったく標準化されていない (0%)

管理の簡素化を目的とする管理テクノロジの統合、およびデスクトップとモバイル デバイス両方の管理強化を目的とする Microsoft 365 機能の使用拡大

- 現状、ワークステーションはまったく管理されていないソフトウェア展開の現在のフットプリントとユーザー アカウントの利用状況の中から、修正を目的にリスク領域を見極めるセキュリティに対する強力な姿勢
- 93 件のクライアント OS がサポート対象外のバージョン
- 5 つのアクティブ ユーザー アカウントが最長 90 日ログインしていない

概要と主なメトリックス

アセスメントの対象範囲

Contoso のクライアント インフラストラクチャと Active Directory 全体でのデータ収集とアセスメント、生産性サーバーの追加レビュー、および Microsoft 365 統合の機会を分析

フォーカス領域

- エンドポイント: クライアント インフラストラクチャの標準化とセキュリティ確保
- ユーザー: ユーザー、ユース ケース、およびセキュリティ リスクの確認
- 財務分析と提案事項: Microsoft 365 への統合を目的とする経済的問題の確認

アクティブな Windows クライアントの数	1.3k	インベントリーの範囲 95%
アクティブなユーザー アカウントの数	1.1k	
アクティブな Windows ドメインの数	1	
エンドポイント管理テクノロジ	なし	
オンプレミスの MS 生産性サーバー	Exchange, SharePoint, Skype for Business	
クライアント/ユーザー ソフトウェアの標準	CoreCAL Suite Per Device, Office Professional Plus, Win Enterprise	

財務分析

以下の表は、ユーザーのプロファイルに合わせて、マイクロソフトのソリューションとサードパーティ製ソリューションを Microsoft 365 ソリューションに統合する提案によって生み出される総削減額をまとめたものです。

<u>Current Profile</u>	<u>Current Solution</u>	<u>Current</u>	<u>Proposed</u>	<u>Proposed Solution</u>	<u>Proposed Annual Costs</u>	<u>Incremental</u>
		<u>Annual Costs</u>	<u>Profile</u>			<u>Annual Costs</u>
4,829 Users	O365 E3	\$ 589,331	4,599 Users	M365 E3 Users	\$ 1,766,016	\$ 1,094,978
	Core CAL Bridge - User	\$ 81,707				
Total		\$ 671,038			\$ 1,766,016	\$ 1,094,978
Other	Current Solution	Annual Costs		Proposed Solution	Proposed Annual Costs	Annual Costs
	Avatier		EMS E3	Azure AD Premium P1	\$ -	\$ (275,940)
	(\$5/User/Month - 4,599 Users) - Estimated	\$ 275,940				
	Zoom		Office 365 E3	Microsoft Teams	\$ -	\$ (1,103,208)
	(\$19.99/User/Month - 4,599 Users) - Estimated	\$ 1,103,208				
	Carbon Black Defense Sensor		Windows E3	Windows Defender Application Guard	\$ -	\$ (127,380)
	(\$30/Endpoint/Year - 4,246 PCs) - Estimated	\$ 127,380				
Total		\$ 1,506,528				\$ (1,506,528)
Net Costs		\$ 2,177,566			\$ 1,766,016	\$ (411,550)

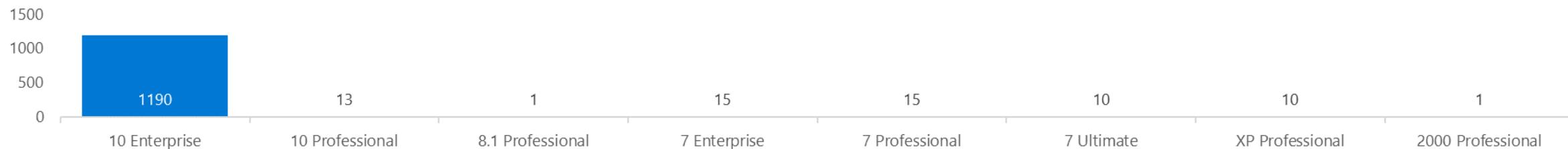
価格は、事業計画に役立てることを目的とした概算値です。実際の価格は異なることがあります。マイクロソフトの担当者またはリセラーに確認してください。

エンドポイント

Windows クライアント OS のライフサイクル

Windows 10 Enterprise にアップグレードして標準化することで、インフラストラクチャ内でサポート対象の（セキュリティが確保された）OSE のみが実行され、ユーザーに一貫した機能と動作を提供して、管理サポートと関連するオーバーヘッドを削減します。以下の図は、クライアント インフラストラクチャ内に展開されている Windows OS の断片化の状況を示しています。

Windows Deployments & Fragmentation



エディションの違い

Windows 10 Enterprise に標準化することで、Windows への既存の投資を利用して、セキュリティ、管理、およびサポートが強化されます。

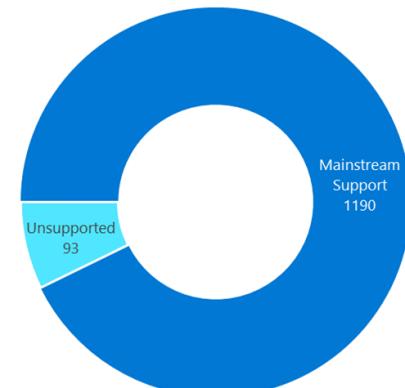
提案事項

- サポート対象外のソフトウェアに対処する
- 展開を標準化し、Windows 10 Enterprise に近代化する

サポート対象外のソフトウェア (7%)

これらのインスタンスは、環境内のセキュリティリスクに対処するため、優先順位を付けてアップグレードします。マイクロソフトでは、サポート対象外のソフトウェアを運用している環境のセキュリティを確保するためのソリューションを提供しています ([リンク](#))。

Windows Client OS Distribution



Windows 10 Enterprise の準備状況

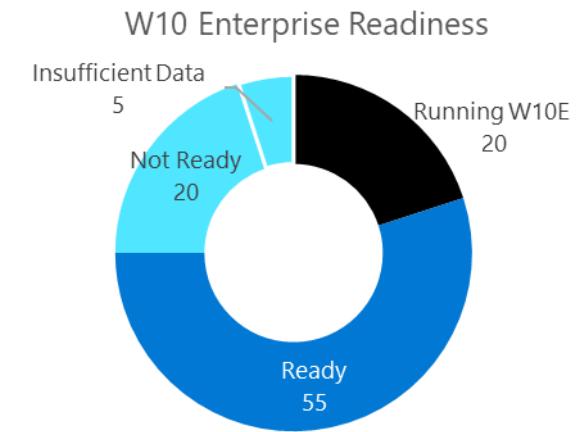
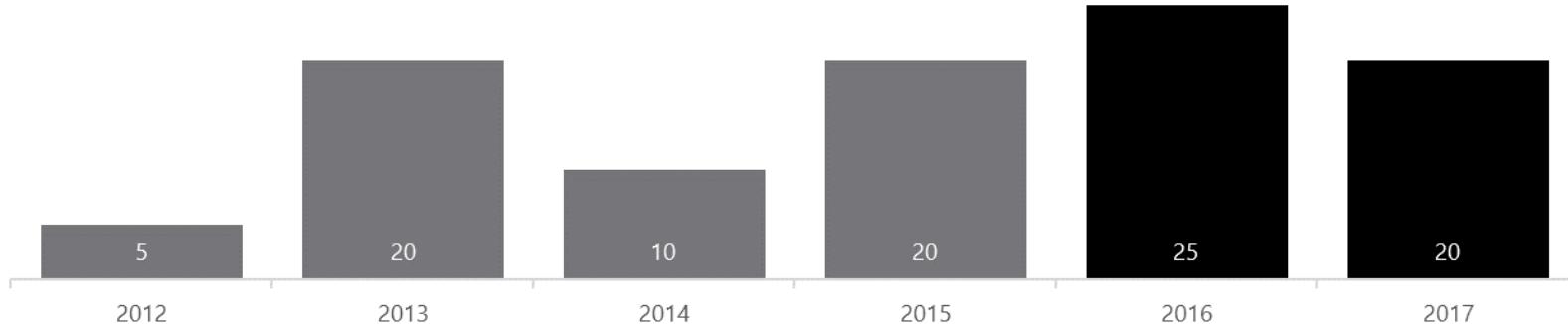
現在の状態

Contoso の物理クライアントの 20% は既に Windows 10 (W10) Enterprise を実行している

準備状況

最低要件を基準にすると、残りのデバイスの約 69% は W10 Enterprise への準備が整っている

Windows Client Hardware Age (Based on Processor Release Date)



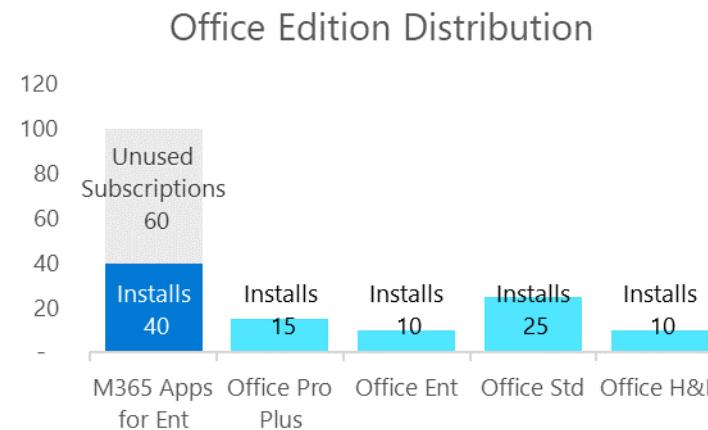
提案事項

- 既存のハードウェアのアップグレードと新しいワークステーションの展開を W10 Enterprise に確実に標準化するため、IT プロトコルが適切であることを確認する

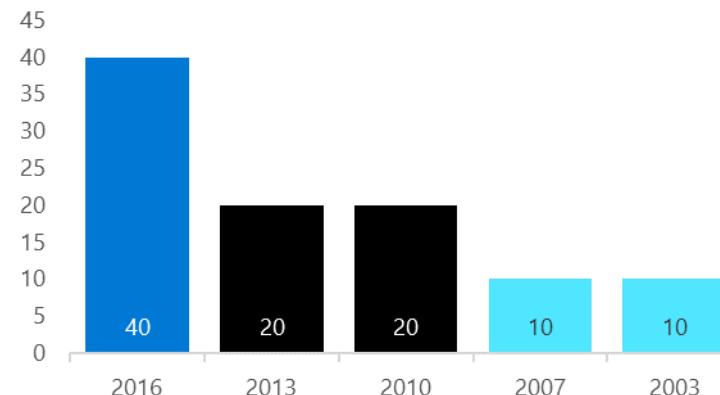
システムの最低要件	
プロセッサ	1 GHz 以上のプロセッサまたは SOC
RAM	32 ビット版 1 GB 64 ビット版 2 GB
HD 容量	32 GB (v1903 の実効容量)

Office のサポート ライフサイクルと準備状況

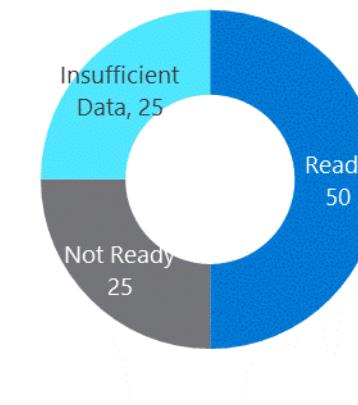
Office スイート製品の展開を標準化することで、管理、サポート、関連オーバーヘッドを削減しながら、ユーザー全体で機能と動作に一貫性を持たせ、インフラストラクチャ内でセキュリティが確保されたサポート対象の製品のみが確実に実行されるようにします。



Office Version Distribution



M365 Apps for Enterprise Readiness



延長サポート (40%)

アップグレードを計画。Office 2013 は 2023 年 4 月 11 日に、Office 2010 は 2020 年 10 月 13 日にサポートが終了。

提案事項

- 延長サポートに入っているソフトウェアに対処する
- イメージングを標準化するために M365 Apps for Enterprise にアップグレードし、O365 オンライン サービスとの完全統合を可能にする

M365 Apps for Ent の最低要件

- プロセッサ: 1.6 GHz 以上
- RAM: 64 ビット版 4 GB、32 ビット版 2 GB
- HD 容量: 4 GB 以上
- OS: Windows 8.1 以降

クライアント エンドポイント管理 – ツールの対象範囲

組織全体を対象範囲とする統合エンドポイントソリューションによって、インフラストラクチャの可視性が高まり、セキュリティのリスクが軽減され、サポートやヘルプデスクの対応サイクルが減り、計画や予算の策定が改善されます。

現状、Contoso にはエンドポイント管理ソリューションがありません。

100%
1,283 のエンドポイントのうち
管理されていないエンドポイントの割合

1,283
管理されていない
デバイスの数

Unmanaged, 1283

提案事項

- System Center Configuration Manager または Intune、あるいは両方を使って、管理されていないデバイスを管理する
- Intune を展開して、モバイル アプリケーション管理 (App Store、アプリケーションレベルの管理、BYOD シナリオなど) を資産全体に拡張する

モバイル デバイス管理

現在の状態	Contoso には MDM ソリューションがない		
メトリックス	ActiveSync 接続の総数	重複を除く ActiveSync ユーザー数	重複を除く ActiveSync デバイス数
	0	0	0

Microsoft 365 は MDM のネイティブ機能を Contoso に提供し、Intune を介して、デバイスの迅速な登録を可能にします。MDM を一元管理して、管理とセキュリティの広範な機能を有効にします。

Exchange を超えて O365 ワークフローに
アクセスするデバイスやアプリケーション向けに
管理の実施とポリシーの適用

古いデバイスの
広範な選択的ワイプ機能

アプリケーションにリモート アクセスする際の
ユーザー エクスペリエンスの改善と
一貫性の向上

提案事項

- Intune を展開し、モバイル デバイスやタブレットを管理する
 - モバイル アプリケーション管理 (App Store、アプリケーションレベルの管理、BYOD シナリオなど)
 - 1 つの画面からすべてのエンドポイントを管理するための統合ソリューションを提供する SCCM 統合

Microsoft エンドポイント マネージャー

Microsoft エンドポイント マネージャーとは、オンプレミスとクラウド内のデバイス管理を目的とするセキュリティが確保された統合ソリューションで、EMS (Enterprise Mobility + Security) E3 に含まれています。

Configuration Manager



- オンプレミスのデバイス管理には ConfigMgr を利用します。ソフトウェア アシュアランスがアクティブで、ConfigMgr によってライセンスが供与されたデバイスには、Intune との共同管理に登録する権利が含まれています。
- Intune テナントを作成し、ConfigMgr の展開にアタッチします。
- Microsoft エンドポイント マネージャーの 1 つのペインですべてを管理します。

Intune



- インテリジェント クラウドからの洞察とベースラインを使用するクラウドベースのデバイスおよびアプリケーション管理。iOS デバイス、Android デバイス、Windows デバイス、および macOS デバイスがすべて管理の対象になります。
- リスクを低減するため、ConfigMgr ワークロードを 1 度に 1 つずつ Intune に移動できます。
- これまで ConfigMgr に投資していない顧客は、Intune を使ってクラウド限定でエンドポイント管理に着手できます。

共同管理



- クラウド インテリジェンスと自動化を提供するため、ConfigMgr と Intune を連携します。
- リスクベースのアクセス管理、Autopilot のプロジェクト、高度な脅威とセキュリティ、テレメトリ主導のポリシー、完全なアプリケーション管理、フルスタックの M365 管理の統合。
- ポリシーが競合するリスクを排除するよう設計されています。

提案事項

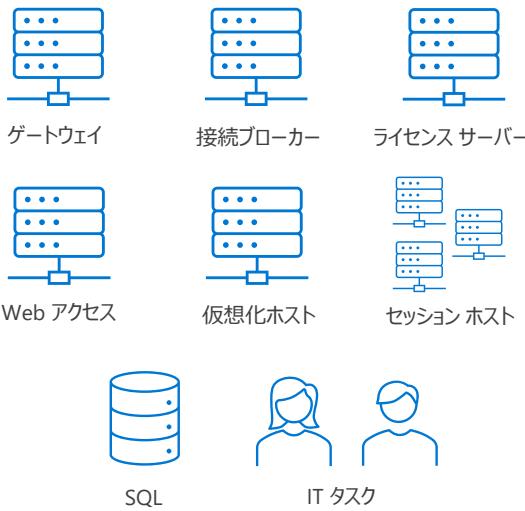
- Microsoft エンドポイント マネージャーを使ってエンドポイント管理を最適に行う方法を綿密に計画するため、現在の状態とビジネス目標を評価する。
- グループ ポリシーの可視性と洞察を目的にポリシー分析を利用する。セキュリティを強化するために、何を排除でき、新しいポリシー (セキュリティ ベースラインなど) をどこに実装できるかを理解する。

Windows 仮想デスクトップ

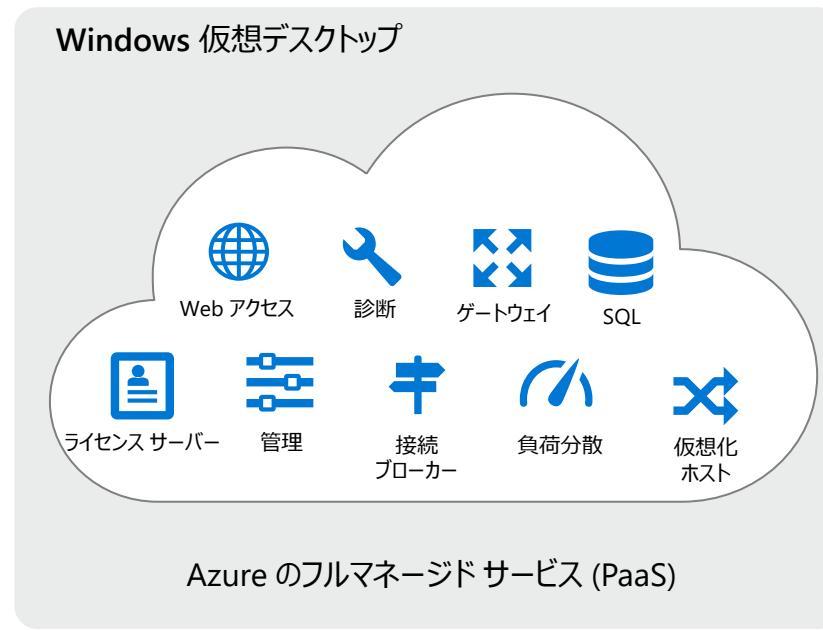
Azure における Windows 仮想デスクトップ

Windows 仮想デスクトップは、オンプレミスのリモート デスクトップ インフラストラクチャを必要としないで、Azure 内でデスクトップ全体の仮想化 (DaaS) または個別のアプリケーションの仮想化 (RemoteApp) を Contoso に提供します。

従来のオンプレミス コンポーネント



Windows 仮想デスクトップ



オンプレミスの RDS サーバー数

15

RDS にアクセスするユーザー数

200

- Windows デスクトップ、Web (HTML5)、iOS、macOS、および Android の各クライアントを使って Windows 仮想デスクトップに接続
- サービスの使用中にユーザーが利用した Azure Virtual Machines のみが支払いの対象
- OneDrive 既定の 1TB (M365 F3 の場合は 2 GB) を使用したストレージ コストの削減

必要なライセンス:

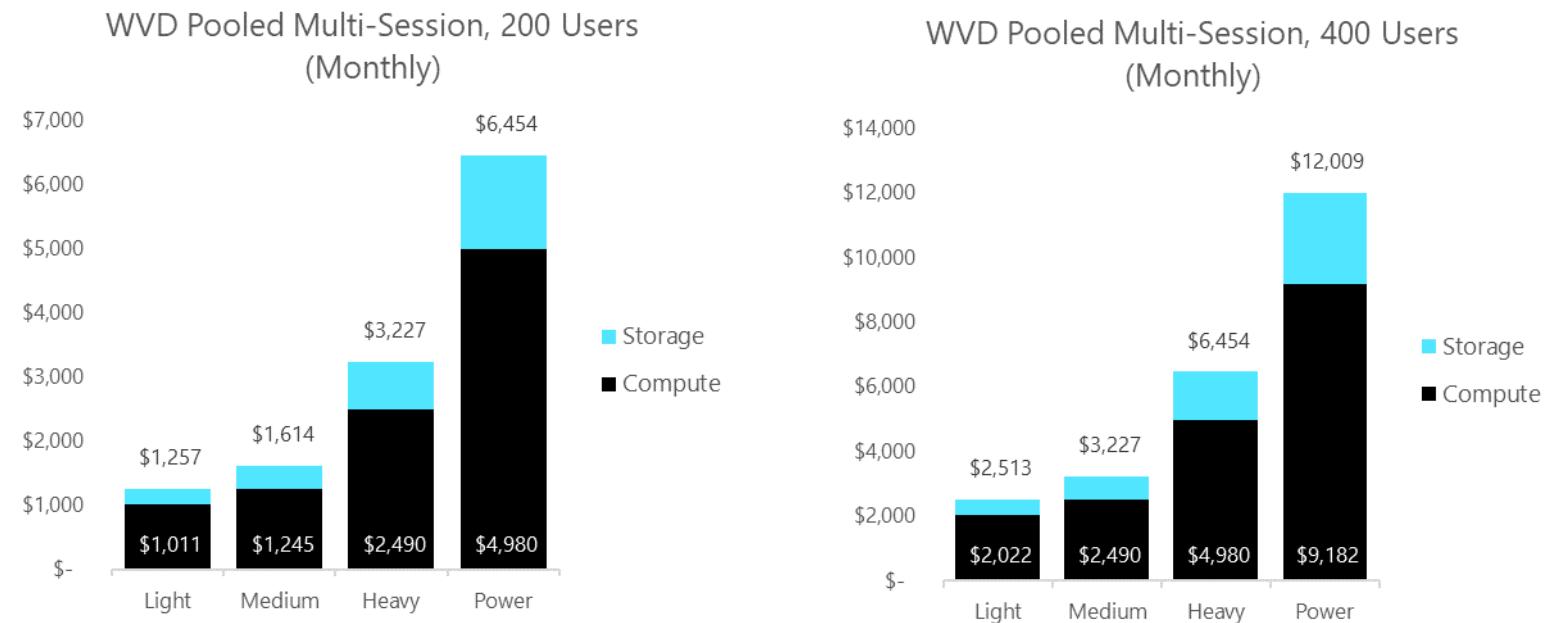
- Windows 仮想デスクトップ: M365 E3/E5/F3/A3/A5, M365 Business Premium, Windows E3/E5/A3/A5、Windows 10 VDA (ユーザー単位)
- Windows Server: ソフトウェア アシュアランス付き RDS CAL

提案事項

- 多種多様なクライアントからセキュリティが確保されたスケーラブルなアクセスを提供するため、現在の RDS ソリューションを Windows 仮想デスクトップに置き換える

価格見積もり

以下は、Windows 仮想デスクトップのコストの見積もりです。Windows 仮想デスクトップのライセンスは、Microsoft 365 E3 の一部として含まれます。



価格の前提条件

- ピーカー時の同時実行 90%、オフピーク時の同時実行 25%
- PayGo で 1 か月あたり 220 時間
- 最高水準のサイジング: E16s v3 VM、P30 ディスク

1 年分のインスタンスを予約することによる最大 41% の節約
3 年分のインスタンスを予約することによる最大 62% の節約

詳細情報:

- [仮想マシンのサイジング ガイダンス](#)
- [リモートデスクトップワークロード](#)

サンプル ユース ケースのタイプ:

簡単: データエントリ、コマンドライン

中程度: + Word、Web

高度: + Outlook、PowerPoint など

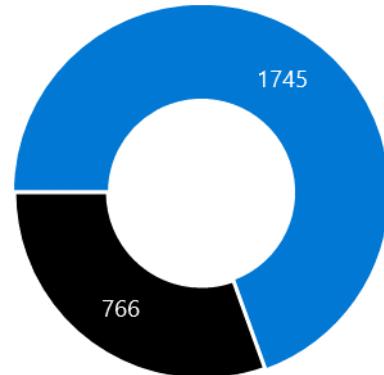
最高: + グラフィック デザイン、3D モデルなど

ユーザー

ユーザーのプロファイル

Contoso の Microsoft 365 展開への動きを加速するための重要なステップは、ユーザーのさまざまなシナリオを理解して、ユーザーが仕事を最も効果的に実行するのに必要となる適切なレベルのサブスクリプションを把握することです。

Current User Distribution



ナレッジ ワーカー

- 現在のユーザー数は 1745 人
- 本社、小売サイト管理、小売 IT
- オンライン サービスへの移行時に生産性と一貫性を実現するため、Microsoft 365 E3 を推奨

最前線のファーストライン ワーカー

- 現在のユーザー数は 766 人
- 小売販売、小売サイトの運営
- 核となる生産性のニーズを実現しながらコスト効果を上げるため、Microsoft 365 F3 を推奨

IT 部門と人事部門が協力し、ユーザーの役割、職務、およびテクノロジのニーズに沿って Active Directory と人事データを分析することでユーザーのプロファイルを完成します。

提案事項

- 定義したユーザー プロファイルに沿って OU とセキュリティ グループ構造を調整し、これらのグループを継続的に進化させる

AD アクティブ ユーザーのリスク

125

過去 90 日間ログイン アクティビティのないアカウントの数

89

過去 180 日間パスワードをリセットしていないアカウントの数

73

過去 6 か月間ログイン アクティビティのないアカウントの数

21

過去 1 年間パスワードをリセットしていないアカウントの数

2.5k

アクティブな名前付きユーザーの総数

2.6k

アクティブな AD アカウントの総数

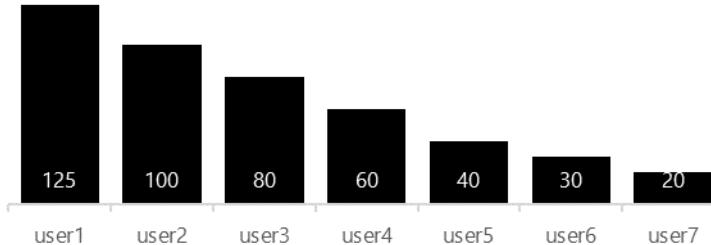
提案事項

- サービス アカウントのポリシーを確認する。サービス アカウントを頻繁に管理し、使われなくなったアカウントは削除して、使用の対象を関連サービスの範囲に制限することで、セキュリティに対する強力な姿勢をサポートする。
- Cloud App Security や Azure AD Premium など、マイクロソフトの管理テクノロジを利用して、外部 IP 範囲からのサービス アカウント アクティビティを制限するといったセキュリティを強化するためのポリシー、アラート、およびアクションを設定する。

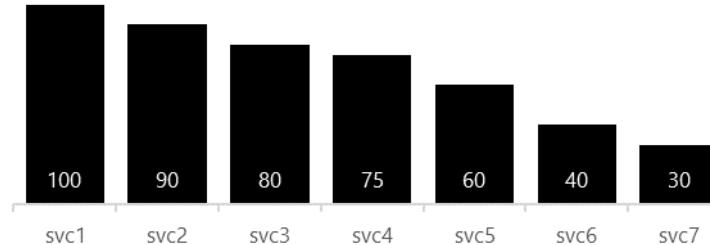
AD アクティブ ユーザー – デバイス接続

デバイスとのやり取りが最も広範なアカウントが侵害されるとネットワークのトラバースが可能になるため、こうしたアカウントを優先してセキュリティ レビューを行う必要があります。

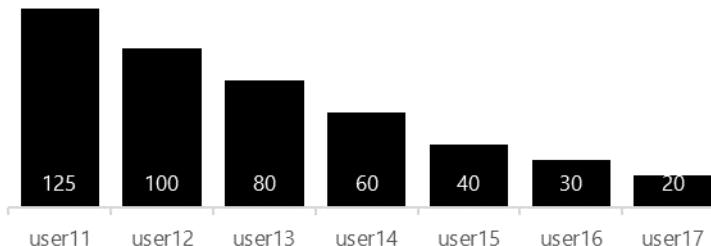
Device Connections - Top Users



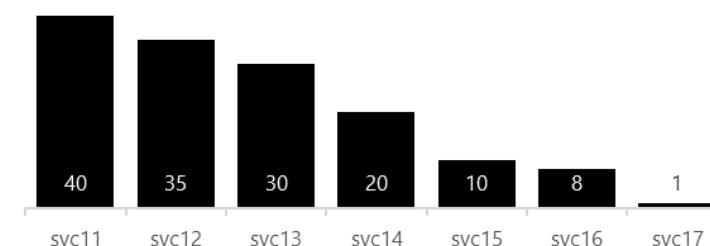
Device Connections - Top Non-User Accounts



SQL Device Connections - Top Users



SQL Device Connections - Top Non-User Accounts



提案事項

- 一般ユーザーのアカウントと、特権を有する管理者やサービスのアカウントを分離する
- サービスアカウントを使用している際は、強力なパスワードを利用する
- 特権を有するアカウントやリスクの高いその他のアカウントの場合は、四半期単位にアクセス権を確認し、多要素認証、条件付きアクセス、Credential Guardなど、強化されたセキュリティ機能を実装する

Microsoft 365 の使用状況

Microsoft 365 のアクティビティレポートと使用状況分析



Microsoft 365 の使用状況を把握し、それに応じて従業員のトレーニングを調整すると、展開が改善され、以下が可能になります。

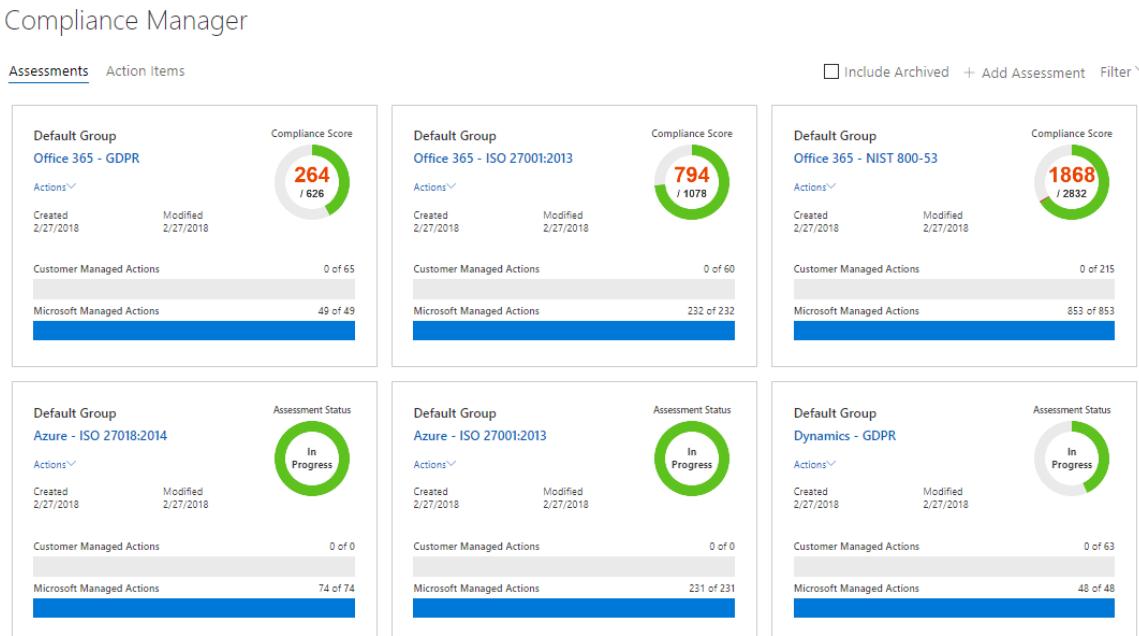
- クラウド サービスの総コストを削減する
- 管理オーバーヘッドを減らし、ユーザー エクスペリエンスを向上する

提案事項

- Power BI 内の無償の Microsoft 365 Adoption Pack と Microsoft 365 アクティビティレポートを使用して、ユーザーのエンゲージメント レベルを測定し、Microsoft 365 のクラウド サービスの価値を最大限に引き出す

Microsoft コンプライアンス マネージャー

コンプライアンス マネージャーは、マイクロソフトの Service Trust Portal の無償のコンポーネントで、Microsoft オンライン サービスのユーザーが無償で利用できます。コンプライアンス マネージャーは、マイクロソフトのクラウド サービスの利用中にデータ保護要件や規制要件を順守するよう、組織をサポートします。



コンプライアンス マネージャーは、組織が以下のような規制や標準に準拠するのに役立つメトリックスを提供します

GDPR HIPAA NIST ISO 27001 ISO 27018

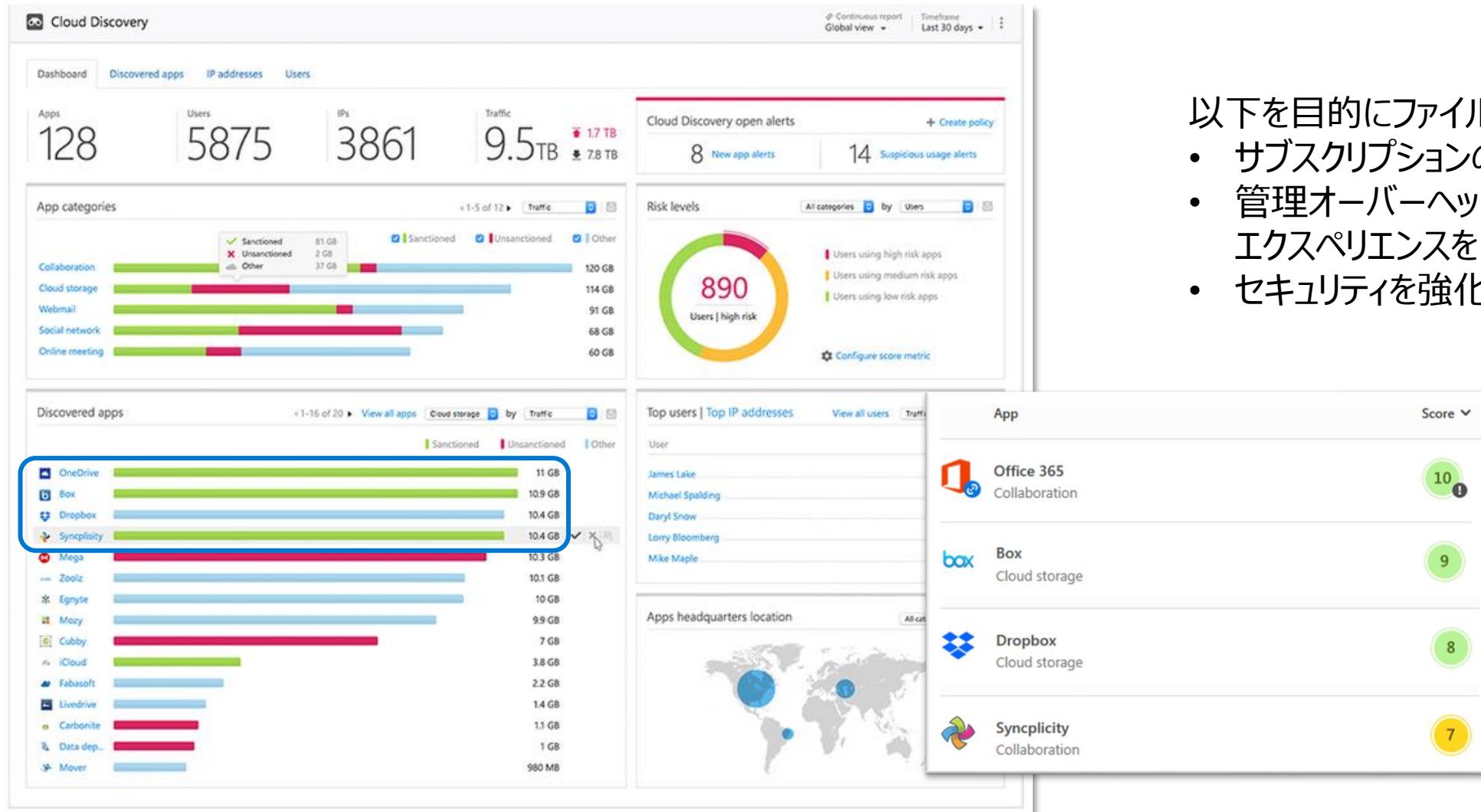
提案事項

- 組織のコンプライアンスの大規模戦略の一環として、コンプライアンス マネージャーを使用する

標準や規制への準拠を保証できるサービスはないとしても、主要技術ソリューションを使って、人間のインテリジェンスとビジネス プロセスを組み合わせることが重要です。

Sample

Microsoft Cloud App Security の試用 – サンプル シナリオ



以下を目的にファイル共有を標準化します

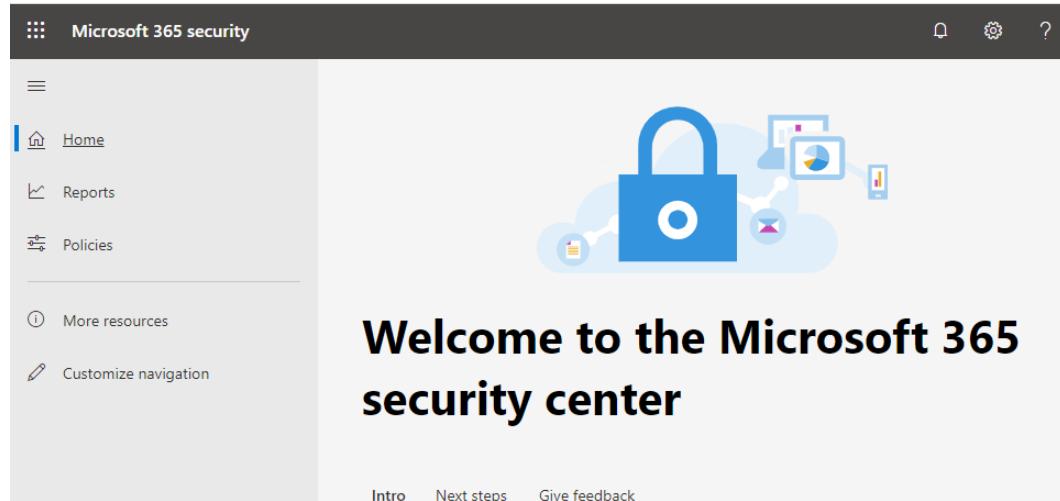
- サブスクリプションの総コストを削減する
- 管理オーバーヘッドを減らし、ユーザー エクスペリエンスを向上する
- セキュリティを強化する

Sample

マイクロソフトのセキュリティセンターとコンプライアンスセンター

Microsoft 365 セキュリティセンター

マイクロソフト ID、データ、デバイス、アプリケーション、およびインフラストラクチャの全体にわたってセキュリティを監視および管理します



Microsoft 365 security

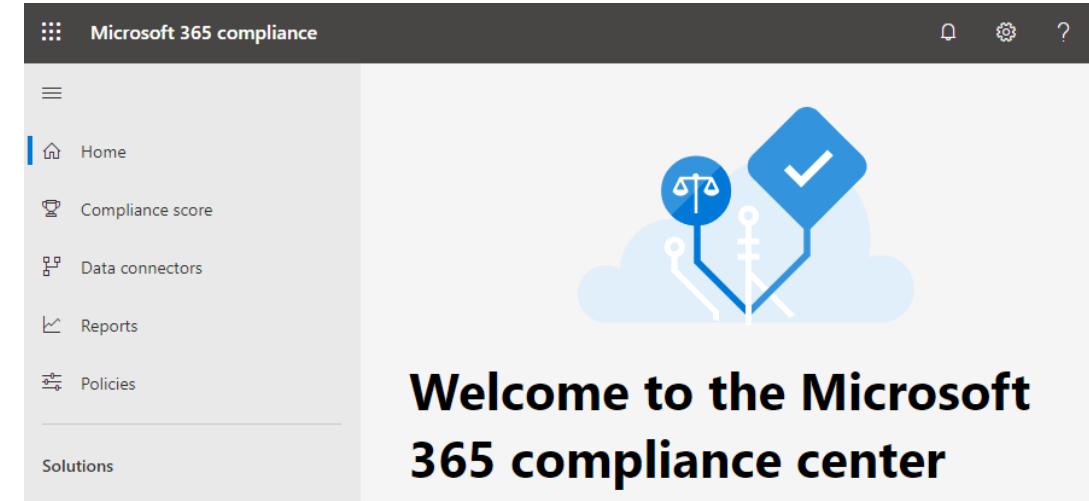
- Home
- Reports
- Policies
- More resources
- Customize navigation

Welcome to the Microsoft 365 security center

Intro Next steps Give feedback

Microsoft 365 コンプライアンスセンター

分類、情報ガバナンス、ケース管理など向けの統合ソリューションを使用して、コンプライアンスのニーズを管理します



Microsoft 365 compliance

- Home
- Compliance score
- Data connectors
- Reports
- Policies
- Solutions

Welcome to the Microsoft 365 compliance center

提案事項

- 記録管理、データガバナンス、データ損失防止、および脅威の管理に、マイクロソフトのセキュリティセンターとコンプライアンスセンターの機能を利用する

Microsoft セキュア スコア – サンプル シナリオ

Microsoft セキュア スコアの初期スコア:
46%

Secure Score: 46%

379/820 points achieved

100%

50%

0%

Breakdown points by: Category

Identity 63%

Data No data to show

Device 45%

Apps 100%

Infrastructure No data to show

■ Points achieved ■ Opportunity

改善例 アクション フライアウト

Action plan

Update status for this improvement action. Note: some statuses are system generated and can't be updated.

- To address
 Planned
 Risk accepted
 Resolved through third party
 Resolved through alternate mitigation

Notes:

Tags: [Add tags](#)

At a glance

Category: Identity

Protects against: [Password Cracking](#), [Account Breach](#)

Product: Azure Active Directory

User impact

Users will be able to self-service password reset in Azure AD and no longer need to engage helpdesk.

Users affected

All of your Microsoft 365 users

個人向けに提案する
スコア改善に向けた次のステップ

- Microsoft Defender Application Guard マネージド モードをオンにする (+1.1%)
- Windows ローカル セキュリティ 機関からの資格情報の盗難をブロックする (+1.1%)
- ランサムウェアに対する高度な保護を使用する (+1.1%)
- 難読化されている可能性のあるスクリプトの実行をブロックする (+1.1%)
- Office アプリケーションから他のプロセスにコードを挿入するのをブロックする (+1.1%)
- 電子メール クライアントおよび Web メールの実行可能コンテンツをブロックする (+1.1%)

Microsoft 365 の機能の確認

Office 365 Enterprise

Sample

アプリケーション	サービス	セキュリティ	コンプライアンス	音声
		Office 365 E5		
<p>Office 365 E3</p> <p>M365 の企業向けアプリケーション: Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNote、Access、Publisher 1 ユーザーあたり最大 5 台の PC/Mac + 5 台のタブレット + 5 台のスマートフォンにインストール</p> <p>モバイルアプリ向け Office と Web 版 Office Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNote、OneDrive、Teams など</p> <p>提案事項: Cisco WebEx を Teams に置き換える</p>	<p>Exchange: ビジネスクラスの電子メールと予定表</p> <p>OneDrive: クラウド ストレージ、ファイル共有、およびコラボレーション</p> <p>SharePoint: モバイル、インテリジェントインターネット</p> <p>Teams: IM、音声/ビデオ/Web 会議、画面共有、定期オンライン会議、チャネル、タスク、140 以上の統合アプリとサービス • アドオン: 電話会議</p> <p>Yammer: プライベート ソーシャル ネットワーキング</p> <p>Stream: ビデオの作成、管理と安全な共有</p> <p>Sway: Web ベースのレポート、プレゼンテーション、ニュースレター、トレーニングなど</p> <p>PowerApps および Flow</p> <p>Planner および To-Do</p>	<p>セキュリティ管理: セキュリティ/コンプライアンス センター セキュア スコア</p> <p>高度な情報保護: • データ損失防止 • Advanced Message Encryption • 自動分類と秘密度ラベル • Exchange Online、Teams、および SharePoint Online 全体の暗号化</p> <p>脅威からの保護: 脅威からの高度な保護: 安全な添付ファイル、フィッシング対策保護、安全なリンクによるゼロデイ保護</p> <p>脅威インテリジェンス: グローバルな脅威に対する実用的な洞察</p> <p>Exchange Online Protection Cloud App Security</p>	<p>コンプライアンス管理: セキュリティ/コンプライアンス センター コンプライアンス マネージャー Service Trust Portal</p> <p>高度なデータ ガバナンス • データ保持ポリシー • アーカイブ • カスタマー キー • 統合監査ログ • 訴訟ホールド</p> <p>インテリジェント コンプライアンス: Advanced eDiscovery カスタマー ロックボックス カスタマー キーによるサービス暗号化 特権アクセス管理</p>	<p>電話会議</p> <p>電話システム</p> <ul style="list-style-type: none">• PBX 機能の有効化• ダイレクトルーティング• アドオン: 通話プラン の国内または海外向けオプション <p>分析</p> <p>Power BI Pro: ライブ ビジネスの分析と可視化</p> <p>MyAnalytics チームの生産性の洞察 アドオン: Workplace Analytics</p>

Enterprise Mobility & Security

	ID およびアクセスの管理	ID 主導のセキュリティ	情報保護	マネージド モバイル生産性	
EMS E5	Azure Active Directory Premium P1 <ul style="list-style-type: none"> 多要素認証、シングルサインオン、および基本的な条件付きアクセス Microsoft Identity Manager による複数のオンプレミス認証ストアの統合 	マイクロソフトによる高度な脅威分析 <ul style="list-style-type: none"> 行動分析を使ったオンプレミスでの疑わしいアクティビティや高度な攻撃の特定 攻撃のタイムラインに関するレポートの作成 	Azure Info Protection Premium P1 <ul style="list-style-type: none"> ドキュメントと電子メールの分類、ラベル付け、および保護 ドキュメントの追跡と取り消し Azure RMS テクノロジの利用 暗号キーの管理 	Microsoft Intune <ul style="list-style-type: none"> 企業のアプリとデータを保護するためのモバイル デバイスとアプリの管理 PC とオンプレミスの統合管理 	
EMS E3	Azure Active Directory Premium P2 <ul style="list-style-type: none"> アラート、分析、および修復を備えたリスクベースの高度な条件付きアクセス 期限付きアクセスと、正当化、承認、および通知を要求するオプションを備えたPrivileged Identity Management 	Microsoft Cloud App Security クラウド アプリケーションの可視性、制御、および保護	Azure Info Protection Premium P2 組織内外で共有されるファイルのインテリジェントな分類、ラベル付け、および暗号化	提案事項: モバイル デバイスやタブレットの管理には Intune を使用し、エンドポイント管理には SCCM を使用する	
提案事項: Azure AD Premium P1 を利用して Duo MFA を置き換える					

Windows 10 Enterprise

W10 Enterprise E5

W10 Enterprise E3

インテリジェント セキュリティ

ID およびアクセス管理

[Windows Hello](#): 生体認証サインイン
[Credential Guard](#): 仮想化ベースの資格情報セキュリティの分離

情報保護

[Windows Information Protection](#): データ漏えいに関するエンタープライズ保護
[BitLocker](#): ドライブ暗号化

Microsoft Defender Antivirus

脅威に対する高度な保護

★ マイクロソフトは、Gartner によるエンドポイント保護プラットフォームの 2019 年度マジック クアドラントのリーダーに選ばれました

- 行動ベースの攻撃検知
- 組み込みの脅威インテリジェンス
- フォレンジック調査と軽減

柔軟な管理

Windows Autopilot:

- 新しいデバイスへのクラウドベースでユーザー主導の展開
- Azure AD へのデバイスの参加と、組み込みモバイル デバイス管理 (MDM) プロトコルによる MDM への登録

Windows 仮想デスクトップ:

仮想デスクトップとリモート アプリケーション

Application Virtualization (App-V):

仮想アプリケーションの配信

生産性の向上

Microsoft Edge:

高速かつセキュリティが確保された Web ブラウジング

Cortana:

デバイス全体で同期されるインテリジェントアシスタント

クラウドベースのクリップボード、[Windows Timeline](#) による複数デバイスにまたがる作業

組み込み生産性ツール:

- [Microsoft WhiteBoard](#)
- [OneNote for Windows 10](#)
- [Office 365](#) の最適化
- [近距離共有](#)
- [アクセシビリティ](#)

提案事項:

ウイルス対策を Sophos から Microsoft Defender に置き換える

シンプルな更新

[サービスとしての Windows](#): 更新チャネルとサービス チャネルの効率を向上する

Desktop Analytics:

包括的なインベントリー、アプリケーションの互換性評価、およびパイロットの推奨事項

[Windows Analytics](#): 以下のような対象を絞った洞察を使って展開に備えます。

- [デバイスの健全性](#)
- [更新コンプライアンス](#)
- [アップグレードの準備状況](#)

提案事項:

データ主導の計画、パイロット実行、および展開によって IT スタッフの効率を向上する

次のステップ

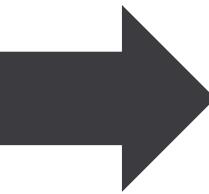
ベースライン ライセンス数と展開数

現在のエンタープライズ契約
#XXXXXXXX

2018年7月1日～2021年6月30日

ユーザー数 900、PC台数 1283

製品	数量
Core CAL Suite Per User	900
Office Professional Plus 2019	1283
Windows Enterprise Per Device	1283



将来の状態:

Workplace Modernization & Optimization

製品	メリット
Microsoft 365 E3	Office 365 生産性を最大限に高めるためにクライアントコンピューター(M365 Apps for Enterprise)とWeb全体の柔軟性を備えた、近代的かつ強力なクラウド統合型アプリケーション
Microsoft 365 E3	Enterprise Mobility + Security 柔軟な働き方を可能にしながら、ビジネスのセキュリティを確保する、セキュリティと管理のクラス最高のテクノロジ
Windows 10 Enterprise	Windows 10 Enterprise 生産性とユーザー エクスペリエンスを目的にオンライン サービスと統合され、マイクロソフトが完全サポートを提供する、高度なセキュリティを備えた近代的なOS

次のステップ

750 件の SA USL から Microsoft 365 E3 に移行し、Windows と Office への既存の投資と 150 件の Microsoft 365 F3 USL を拡張する

クライアントの展開を Windows 10 Enterprise に標準化し、ナレッジ ワーカー向けに M365 Apps for Enterprise にアップグレードして、標準化を確保し、セキュリティをサポートして、オンライン サービスとの完全統合を実現する

エンドポイント管理を System Center Configuration Manager に統合し、Intune を活用して、モバイル デバイス管理機能を統合する

ユーザー アカウントについて特定されたリスクを確認して、必要な箇所を修正し、Microsoft 365 を通じてセキュリティと管理のテクノロジを利用して、今後の管理をサポートする

